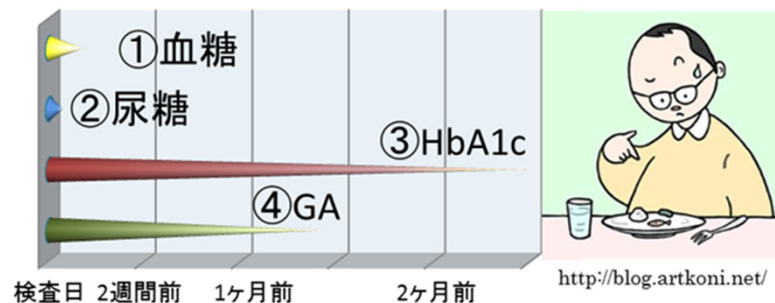


糖尿病に関する検査



平成24年厚労省の調査では、2,050万人（国民の5人に1人以上：赤ちゃんも含めて）が糖尿病患者またはその予備軍と報告されています。今回は、糖尿病の診断および血糖コントロールに用いられている4つの検査について紹介します。

- ①血糖：血糖値というのは文字通り、血液中の糖（ブドウ糖）の量のことです。血糖値は食事を摂るとすぐに上がりますし、食べなければ低くなります。つまり、採血をした時点で血液内に存在しているブドウ糖の量であり、食事の影響を大きく受けます。
- ②尿糖：尿が作られるまでには時間がかかります。したがって、採尿前数時間の血糖レベルを大まかに把握することができます。
- ③ヘモグロビンA1c（HbA1c）：約2ヶ月前から採血時までの血糖値の平均値がこの検査の結果となります。
- ④グリコアルブミン（GA）：治療開始時やお薬の変更などで血糖の変動が大きくなることが予想される場合などに用いられ、採血の1ヶ月前（特に直近の2週間前）から採血時までの平均血糖がわかります。

HbA1cやGAの検査値は、この1～2ヶ月間のあなたの生活態度（頑張ってきた努力、または頑張らなかった結果も）が如実に出てきます。検査日の少し前からあわてて食事を制限したり、急に運動を始めても今さら過去の記憶を塗り替えることはできません。すべてお見通しということです。